

気候変動に関する日本銀行の取り組み方針

- 気候変動問題は、将来にわたって広範な影響を及ぼしうるグローバルな課題
- 社会・経済を構成している各主体による積極的な取り組みが求められる



日本銀行は、物価の安定と金融システムの安定という使命に沿って気候変動に関する取り組みを進めるため、包括的な取り組み方針を決定

金融政策

金融
システム

調査研究

国際金融

業務運営
情報発信



気候変動が、経済・物価・金融システムにもたらす影響は、不確実性が高く、時間の経過に伴って大きく変化する可能性

➡ 今後も、各種の施策について、不断に検討を重ね、対応していく方針

気候変動に関する日本銀行の施策のポイント

金融政策

- 気候変動分野での金融機関の多様な取り組みを支援するため、新たな資金供給を実施。

金融システム

- 金融システムの安定確保：気候関連金融リスクの適切な把握・管理。
- 金融仲介機能の円滑な発揮：取引先企業の脱炭素化に向けた金融機関の取り組み支援等。
➡ 考査・モニタリングにおける深度のある対話、シナリオ分析の実施に向けた検討、金融機関による開示の充実。

調査研究

- 気候変動問題による影響の分析深化。データの収集や分析手法の高度化。
- 金融市場・インフラの機能度を調査。決済システム・市場基盤整備に関わる課題の検討。

国際金融

- 国際的な気候変動に関する取り組み進展、気候関連金融リスクに関する枠組み構築への貢献。
- アジアの市場育成の観点から、各国中銀との協力を通じたグリーン債券等への投資拡充。
- 従来からの保有外貨資産に関する方針の下で、グリーン国債等の購入。

業務運営、情報発信

- 気候変動への対応を意識した取り組み（温室効果ガスの排出削減など）。
- TCFD^(注)による推奨内容を踏まえた開示、気候変動に関する取り組み全般の対外説明の充実。